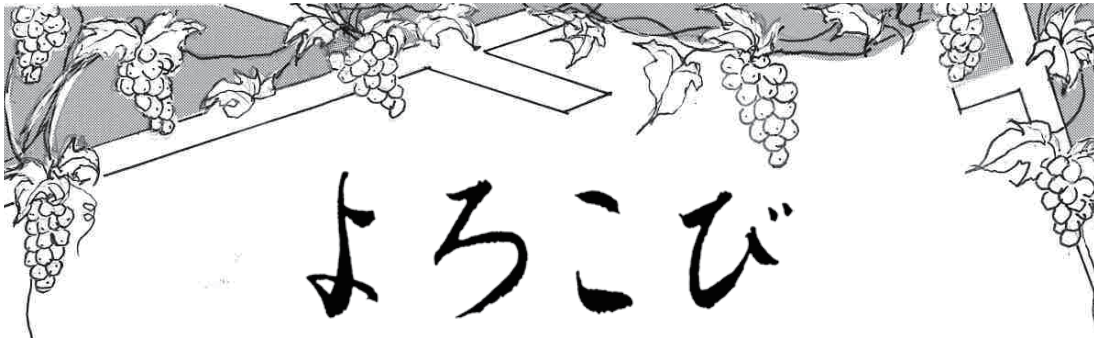




2023.6.20 第137号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信



網中 彰子 総幹事

地中の恵み

日本基督教団総幹事

網中 彰子

新しい教会に着任して三回
目の礼拝が終わった時のこと
です。「洗礼を受けたんです。」
と高校生が申し出られました。
とても嬉しく、早速受洗
準備会の日程を打ち合わせま
した。

種が地中でその芽生えを待
つように、神さまがその方
にとつての最善の時をお与
えになったことを思いまし
た。これまでの導きを感謝し
て受け止め、教会の皆さまと

共に受洗を心から喜びまし
た。神さまは今日もその一人
の立ち帰りを待つておられま
す。それに比べて私達の忍
耐力の乏しさを痛感するこ
ともしばしばあります。時
を支配する神さまの恵みを
日々数えつつ待ち望みます。
私が洗礼を受けた教会は都
心にある比較的礼拝出席人数
の多いところでした。それが
当たり前ではないことを大学
の時に知ることとなります。
牧師が計画と交渉をしてくだ
さり、当時の青年会で奥羽教
区・秋田地区に教会キャラバ
ンとして遣わされる機会を与
えられました。ここで秋田桜
教会の牧師であり現教団總會
議長の雲然俊美先生にお会い

しました。参加者はそれぞれ
幾つかの教会に分かれてホー
ムステイし、私は八郎潟教会
に泊まりました。教会に与え
られた青年を都心へ送り出す
ことの多い地方の諸教会に
あつて、進学や転勤の際、い
ずこにあつても信仰生活を継
続する大切さを担う教会の役
割をも感じました。

その後、牧師となつて遣わ
された教会は都心でも礼拝出
席が10名の時もある主の群れ
でした。日本キリスト教協議
会の総幹事の時には無牧の教
会に説教に遣わされ、千葉支
区の教会では3名で礼拝を捧
げました。地方だけではなく
当然どこにも小さな群れはあ
ります。この状況を北米の教
会の会議の休憩時間にお話し
すると、「なぜ合併しないの
か」と言われることがあります。
仕組みの違いもあり、各
教会が考えていくことなのだ
とお話しました。福音伝道と
社会的な諸活動の両輪で歩ん
でいきたいと願つても、様々

な場所でも人手や献金が不足して将来の計画を見直さなければならぬ活動や団体も増えってきました。継続が縮小か判断が問われています。この世のビジネスの感覚で言えば困難な事態をどう解決するかの上にあります。

神さまが愛する世に在って喜ばれる働きを支える原点はやはり教会であり礼拝です。ある教派ではいわゆるバブル期に大きな課題が生じ、年金制度を維持できなくなりまして、やむを得ず苦渋の決断をせざるを得なかった方々の当時の苦悩を直接お聞きしました。

日本基督教団の諸教会の状況は『信徒の友』の毎日の糧の祈りに覚える教会を毎日お読みいただくとお分かりになると思います。祈りの課題も示されています。これから神さまと新しく出会う方が教会に与えられることを祈っています。

年金局の働きは時代の変化

にあっても守られてきました。そこには祈り支えるお一人お一人の信仰があります。花々が一斉に咲き、一斉に枯れることのないように、困難は地中の種のように必ずどこかで支える存在が与えられています。苦難の時にこそ想像力を持ち、直接出会うことがなくても確実に主に在って支

えあっていることを思い、希望の内に置かれていることを信じます。冒頭の受洗志願者の方のよう、神さまの綿密なご計画の中があります。神さまの計り知れない力と恵みの中に歩んでいることを喜び、年金局の働きを祈り続けたいと願います。

(あみなか しょうこ)

「隠退教師を支える運動・1000円献金」 想い新たに力を合わせて

推進委員・九州教区推進員

東 隆義

コロナ禍の収束を背景に、全教区推進協議会(2022年10月7日)、更に第42総会期第3回推進委員会(2023年4月21日)が開催され、両方ともZoomによる参加をしました。Zoom会議に不慣れな私でしたが、特に違和感もなく、無事に閉会しました。推進事務局の働きや各教区の

運動「九州教区推進員として、何も分からないまま、前任者の推薦により、教区総会の場で紹介され、今日まで9年が過ぎました。その間、推進員の働きが、いかに大切な責務であるかを学びました。この運動が教団年金制度を支える上で、大きな柱の一つであり、重要な役割を担っていること。「1000円献金」は誰でも参加し易く、無理なく続けられること等。この運動の歩みを支え続けて来られた諸先輩方に、心から敬意を表する次第です。

教団新報(第4995・96号「年金特集No.77」に拠りますと、2022年度「隠退教師を支える運動・1000円献金」の参加比率は57%でした。この参加比率の推移に毎年注目していますが、奥羽教区の100%には元氣付けられます。まだまだ伸び代に余裕があります。この参加比率を高めて、喜びを共有したいと願っています。

「隠退教師を支える運動」
推進委員・推進員 () 内は所属教区

鈴木 秀信	委員長	(東京)
山田 昌人	事務局長	(東京)
佐久間光昭	推進員	(北海)
山崎 節子	推進員	(奥羽)
佐藤 京子	推進員	(東北)
滝川 英子	推進委員 推進員	(関東)
中嶋 曉彦	推進員	(西東京)
福田 栄一	推進員	(西東京)
倉持 啓子	推進員	(神奈川)
八嶋由里子	推進委員	(東海)
五味 優子	推進員	(東海)
須田 静代	推進委員	(中部)
中田 邦雄	推進員	(中部)
谷本 聰子	推進員	(京都)
黒野 忠和	推進員	(大阪)
小笠原 務	推進委員 推進員	(兵庫)
浦川 英子	推進員	(東中国)
高石 孝子	推進員	(西中国)
中山 耕平	推進員	(四国)
東 隆義	推進委員 推進員	(九州)
上地 克哉	推進員	(沖縄)
尾作 聖子	推進員	(東京・東)
白井 昭子	推進員	(東京・東)
(未 定)	推進員	(東京・西南)
砂塚 秀子	推進員	(東京・南)
沼野 直美	推進員	(東京・南)
小宮 周一	推進員	(東京・北)
山角 正子	推進員	(東京・千葉)
大三島義孝	監事	(教団監事)
河村 富雄	監事	(東京)

前記の「年金特集」には、「謝恩日献金(参加比率59%)」と「100円献金(参加比率57%)」の両方共参加をしていない教会は、教会名が報告されていません。九州教区では126教会・伝道所に献金一覧表をお届けして、両方とも空白にならないようにご協力をお願いしています。ご承知の通り参加比率の推移



東 隆義 さん

は直接、献金額の増減と結び付いています。献金額の空白欄を埋める作業は、「共に力を合わせる」教会の業だと思っています。

さて、教区総会場で感謝とお願ひ、報告をさせて頂いてありますが、時間的都合で毎回、駆け足報告です。そんな中で、推進事務局から配布された関係資料は、とても有効で感謝です。見慣れた円グラフの『100円献金』にご協力を！のチラシなどを用いて、この運動へのご参加を呼びかけたいと思います。

(ひがし たかよし/田川教会)



業 務 室 よ り

一年金を受けている方へ 年金給付のお知らせ

7月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2023年度第1期分給付
(2023年4・5・6月分)

送金日 2023年7月10日(月)
期日に、ご指定の金融機関に入金されて
いない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2023年10月10日(火)

連絡先・年金振込先の変更は、できる
限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れ
かで、年金局までお知らせください。

☆ 2022年度年金局事業・決算報告がま
まりました。以下、概要を感謝をもって
ご報告いたします。2022年度は702名
の隠退教師・ご遺族の方(年度末現在)
に総額4億4042万円の年金を支給いた
しました。一方、掛金収入は3億1145
万円でその差1億2896万円は「謝恩日
献金」「隠退教師を支える運動・100円
献金」、資産運用益等で補われています。
「謝恩日献金」の総額は3957万円で959
教会から献げられました。また「隠退教
師を支える運動・100円献金」は6519
万円が919教会から献げられました。(詳
細は同封の「教団新報・年金特集77号」
をご覧ください。) 相変わらずコロナ感
染により、通常活動ができない状況が続
く中であっても、全国の教会・伝道所が
祈りと宝を変わずお献げくださったこと
は、教団退職年金制度の大きな支えで
す。資産運用益も以前継続しているコロ
ナ、ロシアのウクライナ侵攻などが経済
社会に多くの影響を及ぼす状況下でした

が、目標額の108.74%、5002万円を計
上しました。「支える運動」からの多額
な繰入金、教区協力金、教団からの繰入
金、特別献金などにより、2022年度の
収支差額の2561万円と、昨年秋に終了
した謝恩金勘定の残額6731万円を積立
金に繰り入れ、退職年金積立金は44億
8419万円となりました。(詳細は、秋に
発行されます「教団新報・年金特集78号」
に掲載いたします。)

☆ この春に隠退され、教団年金受給者とな
られた教師の方は、現時点で22名、平
均年齢は74歳です。再隠退された方は
3名です。

☆ 現況届のご提出をありがとうございました。
ハガキに添えられた近況や労いの言
葉に、職員一同励まされております。「緊
急連絡先」のご登録へのご理解とご協力
も感謝です。いろいろな場面で役立っ
ておりますので、未登録の方、変更され
た方は、ご連絡をよろしくお願いいたし
ます。

☆ 4月に着任された教団新総幹事に巻頭言
をお寄せいただきました。みなさまもど
うぞ新総幹事のことをお覚えください。

☆ コロナウィルス感染症が5類感染症に移
行され、その少し前から教団の会議も少
しずつ対面開催が多くなり、顔を拝見
する方も増えてきました。年金局の会議
も理事会を中心に以前のスタイルに戻り
つつあります。しかし、まだまだ油断は
できません。個人の判断が求められてい
ますので、みなさまくれぐれもご無理を
なさいませんようご自愛ください。

(村山めぐみ)

日 本 基 督 教 団 年 金 局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081

mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081

mail:sasae100@uccj.org